

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、17～21℃台を示し、平年並み～やや高めの水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網—月夜間とシケのため出漁日数が少なかった。西彼地区では、カタクチイワシなどが1日1統当たり2トンの水揚げで、前週の17%（前年を下回った）。五島奈留地区では、マアジが1日1統当たり2トンの水揚げ（前年を下回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり17トンの水揚げで、前週の1.6倍（前年を上回った）。
- イカ釣—スルメイカは、壱岐勝本地区では1日当たり2トンの水揚げで、前週の48%（前年を下回った）。ケンサキイカは、壱岐勝本地区では1日当たり2.8トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。
- 定置網—五島魚目地区では、ヒラマサなどが1日1統当たり124kgの水揚げ。対馬西岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり165kgの水揚げ。
- 一本釣—北松宇久地区では、イサキなどが1日当たり194kgの水揚げで、前週の43%（前年並み）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（4/20～4/23の4日間）沖合イカ釣（船凍船）は、切揚中。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～隠岐諸島周辺～兵庫沖～能登半島沖で操業。

鳥取県西部（沖合船）4日延6隻、総計337箱、1航海最高75箱、平均56.2箱。スルメイカを漁獲、魚体は20～30入り。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>